



## 研究業績

著者	池田 昭光, 塩谷 祐人, 黒川 貞生, 篠崎 美生子, 徐 正敏, 徳間 晴美, 野副 朋子, 福山 勝也, 山内 薫, THOMAS Dax, ELAM Jesse, GRIMES-MACLELLAN Dawn
雑誌名	明治学院大学教養教育センター附属研究所年報 : synthesis = The annual report of the MGU Institute for Liberal Arts
巻	2021
ページ	35-40
発行年	2022-03-31
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10723/00004338">http://hdl.handle.net/10723/00004338</a>

06

研究業績

06

## 池田 昭光

### 【学会発表】

「信頼を不信から考える——マシュー・キャリー著『民族誌的理論としての不信』を手がかりに」  
科学研究費学術変革領域研究（A）「イスラーム的コネクティビティにみる信頼構築」ワークショップ、オンライン開催（2021年7月31日）

## 塩谷 祐人

### 【論文】

「アンドレイ・マキーヌのアカデミー・フランセーズ講演を巡って—外国出身のフランス作家に関する考察」  
明治学院大学教養教育センター紀要『カルチュラル』第16巻（2022年3月掲載予定）

### 【その他（翻訳）】

ミシェル・ビュートル『レペルトワールII』（石橋正孝監訳、幻戯書房、2021年12月）  
担当箇所：「貧しき縁者」（p.203-209）

## 黒川 貞生

### 【論文】

Muscle stiffness of the rectus femoris and vastus lateralis in children with Osgood-Schlatter disease.  
Shota Enomoto, Toshiaki Oda, Norihide Sugisaki, Misaki Toeda, Sadao Kurokawa, Masaru Kaga. The Knee 32, 140-147 (2021)

大学生における体型、体力の変化と運動習慣ならびに性別に関する縦断的研究

土屋 陽祐, 黒川 貞生, 亀ヶ谷 純一, 森田 恭光, 榎本 翔太, 諏訪間 恵美, 中谷 深友紀, 杉崎 範英.

明治学院大学教養教育センター紀要『カルチュラル』第16巻（2022年3月掲載予定）

## 篠崎 美生子

### 【論文】

「『帝国』の語りとしての『山月記』」(早稲田大学国文学会『国文学研究』第百九十四集 2021年6月)

「『林京子』をつくった『芥川』と『魯迅』一蹴に代えて」(『林京子と上海』研究会／中国表象研究会編『上海を舞台に—林京子／芥川龍之介—』2022年2月刊行予定)

### 【書評】

「柴田優呼『プロデュースされた〈被爆者〉たち——表象空間におけるヒロシマ・ナガサキ』」(明治学院大学国際平和研究所編『PRIME』45号 2022年3月刊行予定)

## 徐 正敏

### 【著書】

『東京からの通信』(単著)、かんよう出版、2021年、全体352頁

『アジアキリスト教の歴史』(韓国語、共著)、図書出版デザインカン、2021年、51-59頁 (全体239頁)

『メタバース時代の神学と牧会—延世神学文庫011』(韓国語、共著)、トンヨン出版社、2021年、50-57頁 (全体214頁)

### 【論文】

「書評、日韓キリスト教関係史資料3、1945-2010」(韓国語)、『基督教思想』第747号、219-223頁 2021年3月

「書評、日韓キリスト教関係史資料3『本のひろば』第759号、20-21頁 2021年3月

「書評、『東洋文化』(東京大学東洋文化研究所)101号、社会参与画家の富山妙子特集」(韓国語)、『基督教思想』第753号、201-206頁 2021年9月

「日本キリスト教の受容史に対する断想—「キリスト教主義」の形成と「国学」(韓国語)、  
『柳東植教授上寿記念文集風流神学百年』(ドンヨン出版社、2021年)、121-135頁

**【学会発表】**

「日本の国学とキリスト教主義」(韓国語) アジアキリスト教史学会(アジアキリスト教史学会創立  
10周年記念学術大会、韓国、安養大学) 2021年11月13日(オンラインZoomで発表)

**徳間 晴美**

**【論文】**

「待遇コミュニケーションの観点を意識したビジネス日本語科目に関する考察—場面認識と自己内  
省を中心に—」『日本語教育研究』第55輯, 21-34 韓国日語教育学会 2021年5月

**【学会発表】**

運営委員会企画「待遇コミュニケーションにおける理論的枠組みを考える」  
待遇コミュニケーション学会2021年秋季大会(オンライン開催)(2021年10月23日)  
共同発表者: アドゥアヨム・アヘゴ希佳子、李ジウオン、任ジェヒ、蒲谷宏

**野副 朋子**

**【調査・研究報告】**

野副 朋子、安部 淳「植物バイオテクノロジーに関する実験実習」  
明治学院大学教養教育センター紀要『カルチュラル』第16巻(2022年3月掲載予定)

**福山 勝也**

**【論文】**

「カルボジイミド基を有するポリマーから調製したガラス状炭素に対する熱処理とHIP処理の効果」  
明治学院大学教養教育センター紀要『カルチュラル』第16巻(2022年3月掲載予定)

## 山内 薫

### 【著書】

『「ことば」の学びに寄り添う日本語教育—「学習と人生のつながりの軸」の形成と意識化をめざして—』くろしお出版、2022年2月刊行予定

### 【論文】

「大学時代及び大学という学習環境で日本語を学ぶ意義—フランスの大学における継承日本語学習者を事例に—」『第6回スペイン日本語教師会シンポジウム発表論文集「未来を創る複言語・複文化教育」』、pp.55-60、2021年12月

『「ことば」の学びを探究する視点としての移動性—グローバル時代における生涯学習としての外国語教育を実現するための一提言—』『日本語・日本語教育』第4号、pp.111-129、2021年3月

### 【学会発表】

「生活から人生へと視野の広がりを目的とする言語教育実践—学部生1年次対象の「口頭表現トレーニング」科目を事例として—」日本生涯教育学会第42回大会研究発表、オンライン。（2021年11月28日）

「大学時代及び大学という学習環境で日本語を学ぶ意義—フランスの大学における継承日本語学習者を事例に—」スペイン日本語教師会第6回シンポジウム「未来を創る複言語・複文化教育」、オンライン。（2021年6月20日）

## Dax Thomas

### 【学会発表】

Japanese university students' attitudes towards extensive reading in the digital age. Extensive Reading Around the World 2021. Elam, J., Thomas, D., Grimes-MacLellan, D., & Galichet-Honda, V. (Online). August 13, 2021.

## ELAM Jesse

### 【学会発表】

Japanese university students' attitudes towards extensive reading in the digital age. Extensive Reading Around the World 2021. Elam, J., Thomas, D., Grimes-MacLellan, D., & Galichet-Honda, V. (Online). August 13, 2021.

## Grimes-MacLellan, Dawn

### 【学会発表】

Japanese university students' attitudes towards extensive reading in the digital age. Extensive Reading Around the World 2021. Elam, J., Thomas, D., Grimes-MacLellan, D., & Galichet-Honda, V. (Online). August 13, 2021.

Cultivating an Immersive Environment in the Classroom: Teaching Japanese Society through Koreeda Films. Japan Studies Association (Honolulu, HI, USA – Virtual). January 7, 2022.

◆上記のほか、所員の業績を、下記URLにて報告しております。

<https://gyoseki.meijigakuin.ac.jp/mguhp/KgApp?courc=270000>

